

2022 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名	藤田 稔子	職名	准教授	学位	修士 (看護学) (神戸市看護大学 2005 年)
----	-------	----	-----	----	---------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
小児看護	感染症 (感染症対策、予防接種) 小児ぜんそく 医療保育

研 究 課 題
<p>【取り組み始めて COVID-19 流行により中断中の研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療保育専門士と小児病棟看護師との協働の在り方について→特に、子どもの理解が乏しい新人看護師に対して、保育の専門性を有効的に活用した取り組みの実施と考察。(医療保育士との共同研究) <p>【継続していきたい研究課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に関して、乳幼児の身近なものへの一般細菌の付着状況を実験的に調査し、その結果、安全かつ簡易的に実施可能な消毒方法を考察する。 ・慢性疾患、特に気管支喘息を持った幼児が、どのように疾患と向き合い、自己管理をしていくのか、また、スムーズな子ども自身が可能な自己管理方法について考察する。 ・子ども達が身体や健康に関心を持つきっかけとなる「絵本」に着目し、発達段階にみた「内容」「(身体や症状を表す) ことば」について調査する。

担 当 授 業 科 目
子ども学基礎演習 (保育科 1 年 前期・後期) こども学特別演習 (保育科 2 年 前期・後期) 初年次セミナー (保育科 1 年 前期) こどもの健康と安全 (保育科 2 年 前期) 子どもの保健 (保育科 1 年 後期) こども音楽療育実習 (保育科 2 年 後期) 在宅保育 (保育科 2 年 後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【こどもの健康と安全】</p> <p>今年度も BLS は日本赤十字社福岡県支部の指導員複数名に学生が十分演習できる蘇生人形の台数を持参のうえでの実技演習ではなく、大学保健福祉学部看護学科の急性期看護学助教と小児看護学助手にご尽力いただいて実技演習をおこないました。今回は、2 コマ続きの演習として、BLS、包帯法等を含む応急処置を少人数での実技演習としました。昨年度の傾向を踏まえ、演習前に演習に入っただく助教助手と意見交換や打ち合わせを十分におこない、保育現場で考え得るより実践的な事例に基づく手技の習得を目指した内容で行うことができました。少人数で行うことにより、フィードバックもより深くでき、一人ひとりの手技を見て指導できたと思います。</p>
<p>授業科目名【在宅保育】</p> <p>ベビーシッターとして、主流になる障害児への保育を今年度はより詳細に内容を組み込みました。受講生から高評価であった内容は、障害にあった食事形態や食器の選び方、介助の方法の実際を学ぶ回です。また、自分でミキサー食を作って試作する回では、とろみ剤の調整により嚥下の感覚を直に体験してもらい、どのような硬さがよいのか、一口がどれぐらいの分量が適しているのかを試行錯誤して体験してもらいました。また、産後ケアを学ぶことにより、社会人として女性としてのマナーや日常生活行為を見直し、不足しているところは気付きに繋がっていたように感じました。(特に洗濯や炊事について)</p>

授業科目名【こども音楽療育実習】

今年度は、対面での活動のみを計画していましたが、コロナ禍で協力してくれていた園から今年度もぜひしてほしいという要望が強くあり、web 公演 2 回、ウェル戸畑多目的ホールでの公演 1 回と合計 3 公演をこなしました。

役割をしっかりと決め、受講生の主体的な言動を丁寧に拾いながら、後方支援に努めました。今年度は、リズム室にポータブル Wi-Fi を持ち込み、通信としては問題なく実施することができましたが、2 回目の配信時は音声の設定が上手くいかず、少し残念な結果となりましたが、事前に園に魔法の鏡を作って持っていく等内容的には好評でした。しかしながら、受講生も担当する我々も負担が大きく、次年度は対面公演だけに絞れたら、と願っています。

授業科目名【こども学特別演習】

例年通りの井堀市民センターでの活動ができました。回を追うごとに企画力や準備する手際もよくなり、自分達でスケジュールを立て取り組んでいけるようになっていきました。実施した後、必ず振り返りの時を持っていましたが、徐々に自分達だけでまず LINE のノート機能を用いて振り返り会をおこない、記録に残し、次につなげるように工夫をしていました。私自身は、活動が円滑に進むようにセンターとの連絡を密にしてセンター職員と共に裏方として活動を支えていくことに専念いたしました。この活動は、2022 年度地域連携室主催の交流会で報告させていただいています。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本小児保健学会		2000 年 4 月～現在に至る
日本小児看護学会		2005 年 4 月～現在に至る
日本医療保育学会		2010 年 4 月～現在に至る

2022 年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 子どもと社会の未来を 拓く—保育内容—健康	共	2022.3.23	青踏社	①保育士資格及び幼稚園教諭 免許取得の必修科目の教科 書である。特に出版社から は、新型コロナ感染に関する 事項を入れた内容で依頼を 受け、執筆した。 ②編著 高橋弥生、臼井達也 執筆 高橋弥生他 19 名 ③担当部分 第 12 章 子ど もの病気とケガ (P.161-P.175) 総頁数 P.192 ④B5 判
(学術論文)				
(翻訳)				

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表)				教育研究業績 総数 著書 7 (単0 共7) 学術論文 3 (単1 共2) 学会発表 12 (単2 共10) その他 8 (単0 共8)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
だいすきにつぼん 活動助成	全国栄養士養成協議会	○青木るみ子 藤田稔子	¥70,000

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市開発審査会	委員	2013年11月～2022年11月 (任期満了)
北九州市私立保育園連盟 社会法人 真祐会	外部理事 評議員	2018年～現在に至る 2019年～現在に至る
北九州市保育所連盟戸畑支部	全体研修会講師 (web研修会)	2022年10月

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
<ul style="list-style-type: none"> ・委員会 <ul style="list-style-type: none"> 倫理委員会 副委員長 2010年度～現在に至る 就職委員会 副委員長 2016年度～現在に至る FD委員 2019年度～現在に至る ・アドバイザー関連 <ul style="list-style-type: none"> 保育科1年ゼミ アドバイザー 保育科2年ゼミ アドバイザー ・進路ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> 美萩野女子高等学校 2022.12.1 ・地域貢献

いぼりの森の「みんな！だあ～いすき！」みんな♪フレアイ隊

だいすきにつぼん

・執筆

附属シオン山幼稚園「しおんのそののあゆみ」2023年3月号 巻頭言

・卒業生支援

医療保育専門士への支援